

ここまで来るとべつせかい、 別海町の暮らし



三原 萌佳 (みはら もえか)

大阪府寝屋川市出身。2021年4月から別海町地域おこし協力隊として活動。主に農業支援や牧場作業を体験して酪農の魅力・やりがいや楽しさをSNS等で発信

【別海町に来るまでは】

前職は、大阪市内のオフィス街にある税理士事務所 で働いていました。まず、この事務所に勤めたきっかけは、学生時代に「食べることが好き」「家から近い」という理由で始めたカフェのアルバイトです。世界中にショップ展開するコーヒーショップで、接客でさまざまな人と関わることはもちろんですが、仕入れ・売上の管理など数字に触れる機会も多くありました。そこで、もっと詳しくお金の流れや経営のことを知りたいと強く思い、独学で勉強しながら簿記の資格を取得し、税理士事務所 で働くことに決めました。不動産や相続をメインに扱う事務所で、繁忙期である確定申告の時期は鬼のような忙しさですが、閑散期にはリフレッシュ休暇など福利厚生も充実しており、友人とキャンプや旅行、音楽フェスや映画に行ったりと充実した生活を送っていました。

【地域おこし協力隊になるきっかけ】

2020年頃から世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めました。毎朝満員電車で揺られて出社し、コロナ禍での自粛生活でストレスを発散するのにも限られる日々。今までは、「バリバリ働き、休みは思いっきり楽しんで全力で遊ぶ！」ことが私の大事なストレス発散法でした。好きな自然に触れて過ごすことが難しい環境になり、「大自然の中で体を動かす仕事がしたい」「30歳になる前に今しかできないことがしたい」と考えるようになりました。なので、転職先を探すような意識ではなく、生活スタイルを変えたい感じでした。コロナが少し落ち着いたなら、まずは国内でいいから「都会から離れた場所」に行きたいなという軽い気持ちでネット検索していたところ、大自然の中で体を動かす仕事＝1次産業に携わりたいと思い、漁業か酪農をしようとドンドン検索し、別海町が「生乳生産量日本一の町」と知りました。生産量が多い＝ギガファーム？機械化が進んでいるのか？など、私にとって酪農業界は未知の世界だったので、とても興味が湧きました。しかし、牧場作業員として働くだけだと、自分のコミュニティーが狭くなるような気がして、もの足りなく感じるのではと思いました。すると、タイミング良く役場が農業支援・酪農PR担当の「地域おこし協力隊」を募集していたのです。酪農もできて、広報活動のために多くの人とも関わることができそうだと思い、すぐに応募しました。そこからは、トントン拍子に選考を通過し、無事に協力隊として着任することとなりました。

【主な活動内容】

町の基幹産業である酪農について、やりがいや魅力をPRするため、まずは自分で体験しなくてはと思い、「(有)別海町酪農研修牧場」という新規就農者を育てる施設で、就農を目指す研修生たちと一緒に毎日朝夕2回の搾乳作業や、牛舎の清掃など農家さんと同じように日々牛のお世話をしながら勉強しています。動物相手で



牛の搾乳をする様子

慣れない作業に大変だと感じることはもちろんありますが、子牛は可愛く作業は楽しいですし、やったらやるだけ返ってくるので、酪農はやりがいのある素敵な仕事です。現場で体験したことを元に、新規就農者を募集するため農業フェアに出展したり、SNSを使って牧場での日常を発信しています。町外向けの農業支援・新たな担い手を確保することがメインですが、その他にも地域活性化のためのイベントを行ったり、別海町を盛り上げようとコツコツ励んでいます。

【楽しみながらも毎日奮闘】

役場の若手職員たちと協力して、「アイスdeスクラッチ」という町内イベントを実施。飲食店にもご協力いただき、店で飲食した方にスクラッチカードを配布。当たりが出たら、アイスクリームと交換できるという、コロナ禍で遠のいていた客足も呼び戻し、乳製品の積極的な消費にも繋がる楽しいイベントになりました。同じく、牛乳・乳製品の消費促進を拡大するために「1 DAY 1 MILKチャレンジ」という企画では、プロアスリート選手や著名人の方に、美味しく牛乳・乳製品を飲食してもらい、消費者の皆さんにも普段より多く飲食することを促していけたらと考えました。これをきっかけに、牛乳・乳製品を飲食することが習慣化されると、需要が増え少しでも生産者さんの助けになるかと思っています。また、酪農業界は、まだまだ男性主体のイメージが強いので、酪農に携わる女性をメイン対象（男性の参加も大歓迎）としたサミット「べつかい酪農女性プチサミット」を開催。町内在住の酪農関係の女性3名とともに実行委員として運営に携わりました。約90名の参



サミット実行委員会メンバー

加者と、講師による講演会・グループに分かれて行うワークショップを盛り込んだイベントで、大盛況で終わることができました。毎年開催の恒例イベントとして認知してもらえるように、今後も取り組んでいきたいと思っています。そして、こうした活動をNHKの移住者密着番組「いいいじゅー!!」で特集していただきました。やはり、全国放送のテレビが与える影響は大きく、反響がすごかったので、メディアにも取り上げてもらえるような積極的な活動をしていかなければいけないと感じました。

【わたしのこれから】

別海町に来てから今年で3年目、協力隊としての活動はラストの年になります。しかし、初年度はコロナ禍で制限されることが多く、自分の思うような活動ができなかったのも、その1年間分は延長しようかと現時点では考えています。周りから「新規就農」や「役場・農協への転職」も冗談交じりに勧めていただきますが、牧場での作業を経験して「酪農」はとても魅力的でカッコいい仕事だと再認識したと同時に、まだまだ勉強不足で自分一人では牧場経営は難しいなとも感じました。地元・大阪の友人からは「3年で帰って来ると思ったから、送り出したのに!」と言われてしまい、任期満了後の進路をどうしようかと迷っていますが、ご縁があり別海町で酪農に携わらせていただいたので、微力ながらも貢献できたらと考えます。

最近では、牛のエサ用に育てた畑の草が「エゾシカ」に食い荒らされる被害が深刻化しているニュースをみて、以前から興味があった「狩猟免許」を取得しました。猟銃の所持許可も取得したので、今後はハンターとしても活動し、少しでも被害が軽減されるといいなと思います。もちろん、命も大事に無駄にすることなく、美味しくいただきますよ! これからも、別海町に根ざした活動となるような取り組みを続けていく所存ですので、応援よろしくお願ひします。



子牛のミルクやり